

石垣市移住・定住支援計画 事業実績報告(参考資料)

(令和元年度)

～移住希望者への効果的な情報発信～

○移住フェア・相談会の開催

名称	実施日	場所	相談人数
おきなわ島ぐらし移住セミナー・個別相談会	令和元年6月15日(土)	フクラシア浜松町(東京)	13組 23名
九州・山口・沖縄合同移住フェア	令和元年6月16日(日)	東京交通会館(東京)	8組 13名
おいでや!いなか暮らしフェア	令和元年7月27日(土)	大阪天満橋OMMビル(大阪)	15組 18名
沖縄移住セミナー&相談会	令和元年7月28日(日)	大阪天満橋OMMビル(大阪)	12組 16名
ふるさと回帰フェア2019	令和元年9月7日(土)	ふるさと回帰支援センター(東京)	7組 9名

名称	実施日	場所	相談人数
おきなわ移住大相談会	令和元年9月8日(日)	TKP品川港南口会議室(東京)	17組 27名
おきなわ移住大相談会	令和元年11月9日(土)	AP西新宿(東京)	19組 19名
アイランダー2019	令和元年11月23.24日(土日)	池袋サンシャイン(東京)	8組
沖縄移住相談会&トークライブ	令和2年1月25日(土)	TKP品川カンファレンスルーム(東京)	12組 22名
JOIN移住・交流&地域おこしフェア	令和2年1月26日(日)	東京ビッグサイト(東京)	26組
合計			137組

○移住フェア・相談会の開催

目的

- ・移住希望者が移住後の生活イメージを描けるような情報発信を行う。
- ・具体的な質問に応じることで、移住希望者のニーズを把握する。

取り組み

- ・本市への理解を高めるため、良いところだけPRするのではなく、ネガティブな情報もしっかりと伝え、移住後のリアルな生活イメージを描けるように情報提供を行った。

課題

- ・住居不足
- ・賃金と家賃のバランス 等

個別相談者年代

- ・20代～60代まで幅広い年代

主な相談内容

- ・仕事(仕事はあるか?どんな仕事?)
- ・住まい
- ・交通
- ・物価
- ・地域とのコミュニケーション
- ・子育て 等

○移住フェア・相談会の開催

相談者に対し、アンケートを実施

○移住後の生活のイメージができましたか。

4.1/5段階評価

○移住への気持ちが前向きになりましたか。

4.2/5段階評価

移住相談後の反応(確認できた方)

*移住 5名

*移住体験ツアーへの参加 3名

*市役所への来庁 10名

市役所への移住相談

*電話・窓口 110件(平成31年4月から令和2年3月まで)

*メール 13件(移住ポータルサイトからの相談数)

担当者メモ

・移住相談を受けた方の心境を把握するため、アンケートを実施。満足度が高いことが分かる。

・相談は仕事や住まいに関することが大半を占める。住宅不足や家賃相場を知るとがっかりされる方も多い。空き家バンクの物件を増やして相談会で紹介できるようにしたい。

・実際に相談した方の追跡はできていないが、石垣旅行に来た際に市役所に寄ってくれる方がいたり、移住しますと連絡をくれたりと少しずつ把握できる件数が増えてきた。

・今年度より中間支援組織として移住相談等の業務を委託している(一社)ゆんたくガーデンも参加(2回)。

民間も同行することで、より詳しい移住に関する案内ができ、相談者の満足度も高まり、実際に移住した方との繋がりも見えやすくなった。

○移住・定住支援ポータルサイトの運営



<参考>

地域別ユーザー数ランキング

- 1位 大阪
- 2位 横浜
- 3位 新宿

ページアクセスランキング(トップページ除く)

- 1位 空き家バンク案内
- 2位 移住の流れ
- 3位 空き家バンクシステム

○移住体験ツアーの実施



島の暮らしと仕事体験 ツアー 石垣島

モォー、決めない？

応募

第1回 2019年11月28日(木)～30日(土)
第2回 2020年1月30日(木)～2月1日(土)

●地域との繋がりを大切にしたい ●島の役に立ちたい
●海に囲まれた島リズムを感じながら生活したい・・・
医療・福祉関連、サービス業、農業、マリンスタッフなど
希望する職場の視察や体験を通して自分らしい暮らしを手に入れませんか？
先着移住者が同行する職場視察&体験、生活環境の視察、レクリエーション体験、
宿泊(民泊と研修宿舎に各1泊)、地域の方々や先着移住者との交流会等 (2泊3日)
※各回5名程度の少数で行き届いたツアー内容です ※集合場所までの交通費・食費は自費

主催 石垣市企画政策課地域創生係
ツアー実施/コーディネート 一般社団法人ゆんたくガーデン
☎ (0980) 87-0002 FAX (0980) 82-4502
✉ ijuu-section@yuntaku.ne.jp
[FB] www.facebook.com/ishigaki.island.life/
〒907-0003 沖縄県石垣市平得305-1

集合場所: WWFしらほサンゴ村
アクセス
バス停「白保小学校前」下車(国道390号)
Q 検索:しらほサンゴ村
白保郵便局の前の道(A-15)を直進
(新石垣港よりバス所要約8分→バス停より徒歩約6分)
☎ (0980) 84-4135
〒907-0242 沖縄県石垣市白保 118

移住体験ツアー

(石垣市で人材が不足する業種を対象)

第1回目: 令和元年11月28日(木)～30日(土)

参加者: 4組4名(男性1名、女性3名)

・マリン、農業、福祉の見学・体験

第2回目: 令和2年1月30日(金)～2月1日(土)

参加者: 6組6名(男性2名、女性4名)

・福祉施設の見学(参加者全て福祉従事者)

*第1回目に参加された1名がすでに移住

～移住者と地域をつなぐネットワークの構築～

○移住コンシェルジュの養成

地域の世話役養成塾(沖縄県主催)の研修へ派遣

⇒平成28年度⇒4名(公募市民) 平成29年度⇒0名

⇒平成30年度⇒移住コンシェルジュにおける制度運営の仕組みづくりの構築

⇒令和元年度⇒中間支援機能拡大に向けた研修(沖縄県主催)への派遣

○移住者支援組織(NPO法人等)の設置

⇒平成30年度 1団体設置 ⇒令和元年10月より移住定住支援業務委託を開始。

・都市部での移住相談会への参加、移住体験ツアー、肌理細やかな移住相談を実施。

移住者受入体制(地域のネットワークづくり)の構築により相互連携を図った。

次年度はさらに多くの人たちを巻き込み、相互連携が取れる仕組みを構築していく。

～移住やその後の仕事・住まいの支援～

○空き家バンクの創設

石垣市 **空き家バンク制度**

実施のお知らせ

みなさんの登録
お待ちしております!

空き家バンクは、各自
自治体が自分たちの地
域の人口を増やすために、
その地域にある「空き家」
を賃貸（又は売買）として
紹介（活用）する仕組みを
いい、全国の多くの市町
村で実施されています。

**空き家バンク
補助金制度について**

石垣市では「石垣市空き家バンク補助金
交付要綱」に基づき、改修費用の一部
を負担します。要件・金額は以下のとおりです。

○石垣市空き家バンクに登録した物件であること。
○補助金交付年度から3年間移住促進のために活用すること。
○補助額は、改修費用の10%とし、上限額は50万円とする。
○補助金の交付は、同一物件について一回限りとする。

対象地域…北部（星野、伊野田、大野、伊原間、
明石、久字良、平久保、平野、吉野）東部（白
保、大里）中部（於茂登、三和、川原）

・改修件数 1件（白保）

・現在登録件数 1件（平得）

○令和元年7月より対象地区を拡大
北部、東部 ⇒ 市内全域

・地区拡大によって問い合わせが増えたが、実際に
登録に至ったのは1件。

【要因】

・手続きに時間がかかる、早く貸したい。

・物件の状態が悪い（改修に数百万かかる）

・所有者が申請できない（亡くなったまま未相続等）

【今後】

空き家の発掘、家主、借主との調整は1件1件丁寧に
やることが望ましい。地域おこし協力隊の力を借りて、
更なる周知を図る。

○土地の利活用に関する調査・検討

⇒令和元年度 農業振興地域内の土地に関する調査・検討 未実施

○遊休農地の利活用に関する調査・検討

⇒令和元年度 農地利用状況調査・検討 未実施

～専門性を有する人材の移住・定住支援～

○生涯活躍のまち(石垣版CCRC)の導入

⇒候補地を選定中(市有地)

○地域おこし協力隊の導入

⇒令和元年度 1名採用(特産品を活用した商品開発、販路拡大を担う。)

※5名の隊員の内2名が令和元年度で任期満了。

○公営塾実績

⇒国公立大 4名(琉球大学、三重大学等)

私立・短大 12名(青山学院大学、沖縄国際大学等)



○福祉実習生(保育士・介護士等)の受入れ支援

⇒令和元年度 介護施設 4名(実施:2事業者)

(参考)

保育士の渡航費補助 令和元年度 28名 内訳:県外16名 県内12名